

## 第 71 回国民体育大会開催方針

### 1 基本方針

平成 23 年 3 月 11 日に東日本を直撃したマグニチュード 9.0 の大地震とそれに伴う巨大津波等により、本県においても多くの尊い命と財産が奪われた。

本県ではこの東日本大震災津波災害からの復興を目指し、全国からの支援も受けながら「いのちを守り 海と大地と共に生きる ふるさと岩手・三陸の創造」に向けて全力を挙げて取り組んでいるところである。

第 71 回国民体育大会は、復興への取り組みが進められている平成 28 年に開催されることから、本県にとって東日本大震災津波災害からの復興のシンボルとなる大会として位置付け、また、国体改革の趣旨も踏まえて先例にとらわれない「新しい岩手型国体」として開催する。

この大会の開催を契機に、岩手のスポーツ文化の振興を目指すとともに、県民が地域に誇りを持ち、共生の理念を大切にしながら、心豊かで一人ひとりが希望を抱ける金色に光り輝くふるさと岩手づくりを推進する。

### 2 実施目標

#### (1) 東日本大震災津波災害からの復興の力となる大会

国体開催を通じて地域の一体感や活力の醸成を図り、全ての県民にとって復興の力となる大会を目指す。

#### (2) 県民との協働を基本とする開かれた大会

大会運営の徹底した見直しにより真に必要な業務を厳選し、国、県、市町村、競技団体等との分担と協力により当該業務を進めるとともに、企業、団体、ボランティア等の参画を促進するなど、県民との協働を基本とする開かれた大会の実現を目指す。

#### (3) 岩手のスポーツ水準の飛躍的向上と生涯スポーツの推進を図る大会

ハイレベルなスポーツ選手や指導者の育成・強化に努め、本県スポーツ水準の飛躍的向上を図るとともに、スポーツを通して、県民が心身とも健康で心豊かな生活を送れるよう、生涯スポーツの一層の推進を図る。

#### (4) 岩手の魅力を再認識し全国へ発信する大会

実直で温かな人情に代表される岩手の心、美しく雄大な岩手の自然や、先人が築き我々が受け継いできた歴史、風土、伝統、産業、食などの岩手の文化を再認識し、これら岩手の魅力を全国に発信する。

**(5) 岩手らしいおもてなしの心あふれ交流を広げる大会**

岩手の素晴らしさを感じることができるような心のこもったおもてなしにより、出会いと交流の輪を広げ、県民一人ひとりがエネルギーを得て、地域に元気をもたらす契機とする。

**(6) 広く地域に根ざした大会**

競技会場地は、県内各地に広く分散させ、地域住民の参加と連携を深めることにより、大会に対する県民意識の高揚を図るとともに、地域における体育、スポーツ、文化の振興を図る。

**(7) 簡素・効率化に努める大会**

競技施設は、県内の既存施設を最大限活用するなど、国体改革の趣旨も踏まえて徹底した簡素・効率化に努める。